



総会会場全景



総会壇上風景



現役学生が優勝したじゃんけん大会



マジックショー... う〜ん不思議だった



受付風景・現役女子学生に囲まれた笑顔の三輪君

2年後に ふたたび 逢いませう

去る6月11日、佐世保市三浦町ホテル月華荘で二年に一度の鵬友会総会が開催されました。総会では、平成四、五年度の本部及び各支部の活動報告と決算報告の後、平成六年度の活動予定と予算案を審議し、承認され、無事閉会致しました。

懇親会では、マジックショーあり、じゃんけん大会ありと盛りあがる中、昔話に花を咲かせたひ

Vol. 7

発行

長崎県立大学同窓会鵬友会
佐世保市川下町一三三(大学内)
電話 〇九五六一四七七一五(四六)
〇二二〇一四七一九〇(四四)



長崎県立大学同窓会鵬友会会報

住所変更は連絡を!!

未だ住所の確認が取れない卒業生、変更があるにもかかわらず新住所等の連絡が事務局へ伝わらない卒業生が多数おられる様です。自分の名簿であるだけでなく、友人にとつての名簿でもありです。変更の際は必ず、各支部長又は大学事務局へご連絡下さい。

平成六年版 違った友の顔 鵬友会総会フォトライブラリー



OB 最前線

「備前焼作家をめざして」

碑田 茂雄(50年度卒)

ちょうど窯焚のまつ最中、夕方からの交代に備えて仮眠中、突然の電話に驚きました。同窓会の会報に寄稿するようにと、しかし、寝ボケているし、窯焚が終わると死んだように眠ってしまい、約束を忘れることもしばしば、大変な事を引き受けたんじやなろうか?

私の卒業したのは昭和五十一年、ちょうど今年のような就職難の時代でした。就職活動も情報も少なかった上にすつかり出遅れて、やつと地元岡山の小きな会社に決まりました。とくに、金融論の講義で不可が続き卒業式も荒れて流れてしまい、卒業証書が郵送で手元に着くまでは、親にまで、「お前、本当に卒業したん

か?」と疑われる始末、今では笑話ですが。他の会社で何年間か働き、あとは家業を継ぐ予定でしたが、性格的にどうしても営業になじめそうにありません。そんな時に、備前焼の陶工養成所があることを知りました。もつとも、陶など経験がありません。いったいどうなることかと不安ながら、陶芸センターという養成所に無理やり入所させていただき、二年間研修することになりました。

粘土に触るのは小学校以来、口は生まれて初めてという有様です。備前焼は今でも登窯という安土桃山時代以来の様式の窯を使っています。(窯焚に様々の日数は約二週間、使用する松割木は4tトラック二台分)それから三年間弟子として過ごしました。もうその頃には、あまり不安はなく、ただ独立して窯を持ちたいという希望のみでした。

窯の土把探しが一番大変でした。なにせ松割木を焚くものですから、黒煙がモクモクと出ます。近くに民家でもあれば苦情が出て大変です。やつと土地が決まり、市役所の許可を待ちながら、造成と築窯、その年末に窯が完成し、一月から窯詰と窯焚。忘れもしません。窯焚の終わった二月六日早朝に、長女の出生、作品と子供が同時に生まれたのです。この時のことは生涯忘れないでしょう。初窯は焼き上がりも先行も上り

かしそれ以降は少々骨が折れました。約三年間はそれまでに作りたかったイメージに追いつけず、追いつけるように作陶、それが一巡すると気が抜けたのかスランプ状態でしたが、徐々にお客様も増え、今ではもう少し自分の時間が欲しいという思いがこみ上げてきます。今ではこの道に進んで本当に幸せです。卒業には思いもかけなかった道ですが、一生をかける一番合うと、特にこの頃強く思います。最後に、在校生の皆様には、合った仕事が見つかりますように、諸先輩方のそれぞれの道での御精進をお祈りいたします。

平成六年七月二十三日

「私と鵬友会との関わり」

笠岡 一之(54年度卒)

私と鵬友会との関わりは古く、大学卒業の年まで遡ることが出来ます。当時は現在、本部の相談役を勤める草野氏が会長を務め、80年3月から本格的な同窓会を発足させるべく奔走しておられました。お陰様で我々の期は卒業式のパーティで鵬友会会長の祝辞を受けて卒業することができたのですが、私が東京に勤務したことも手伝い、10数年間は記憶から消えていってしまいました。この間、鵬友会が開店休業状態にあったことを後で知り驚かされました。再び付き合いが始まったのは91年に有楽町で催された関東地区鵬友会の発足パーティに出席したことが契機になりました。関東地区には松田/大川内/徳丸氏などの熱心な諸先輩がおり、他大学に比べて在京の卒業生が少ないという負目もあつてか参加者は少ないながらもパーティは盛り上がりしていました。私も年度の幹事を勤めるなど末席を

汚しておりましたが、家庭の都合で93年に出身地の関西に戻つくと同時に、縁あって今度は関西の幹事を勤めることになりました。どこに住んでいても母校の同窓会があるということは素晴らしいことだと思えます。さて3月に神戸で行った同窓会も結構盛り上がり、職業もサラリーマン、公務員、自営業者は当然のことながら、他に卒業されてから苦労されたことと想像しておりますが、小学校の教諭、公認会計士、さらに驚いたことに医師やお坊さんまで様々な同窓生が集い、和気あまの時間を過ごすことができました。これは私のように他地区の同窓会が経験したものには理解できない感覚かもしれません。同じ大学の同窓生であつても長く関東と関西に分かれて過ごしている内にも、ごく自然と東京風、大阪風といったお国ぶりが生じてきており、地域をまたがる面白さを感じると同時に興味深いところです。私は東京、大阪そして長崎とどの地区のお国自慢にも荷担したくないので特に立ち入ったコメントは差し控えたと思います。一言で表現するならばテレビの東京番組と大阪番組の違いと想像していただければと思います。この様な関西地区の同窓会に興味をお持ちになられた方は、次の機会にはぜひとも我が鵬友会にお集り下さい。

「ふりかえってみれば」

岡本満里子(50年度卒)

私の学生生活はビートルズ、ローリングストーンズ、サンタナなどのロック系の音楽ばかり聞いて、毎日、アルバイトに明け暮れていた。結果は追試四科目、何とか合格したが、あの年の卒業のこ

「新しい同窓会を目指して」

バブル崩壊と、その後続く不況の嵐の中、鵬友会会員の多くの方が様々な変革や努力研鑽の日々を送られていられることと思います。さて、母校国際経済大学は長崎県立大学と名称変更されて、早くも四年が立とうとしており、名称変更とともに設立された流通学科の第一回目の卒業生が来春にはよいよ誕生するのはことごとくです。

彼等の実社会での活躍を我々としては、大いに期待していきたいとおもいます。我々の鵬友会も会員数はすでに五千名を越え、来春の卒業生からは毎年約五百名ずつ会員数が増加していくことが予想され、一万名を越す日もそう遠くないことと思われま

そのような将来を考えると、我々は鵬友会の現状を見つめ直し、将来起るであろう諸問題に対応すべく準備する必要があると思います。会員数の増加は、年間収入が一定で増えないという条件にあつては、我々の活動を窮屈なものとし、満足な会の運営が困難になる

同窓会は終身会費で、運営されています。

本部は、今後も名簿の充実、全国各地の支部活動の支援、更には周年記念式典へ向けての活動など、いろいろな事をやらなくてはなりません。現役学生からは、入学時に全員、終身会費(一、二、〇〇〇円)を頂いておりますが、卒業生の皆様からの納入状況は約30%となつております。今後の本同窓会の発展を願うには余りにも淋しい数字です。まだ未納の卒業生の皆様、ご理解の上同窓会費納入にご協力下さいますようお願い申し上げます。 鵬友会本部

とは、若い思い出として忘れることの出来ないものだ。確かに、合格点に達していないなら、不合格。つまり留年だが、ほぼ半数の者は追試となり、追試内容は、かなりきびしいものでした。しかも、留年となったもののほとんどは、就職も決まっていたので、卒業をあきらめて就職したのも、あるいは、その逆と悲憤でした。その後、答案用紙の公開を求めて、署名運動もやっていたようだが、。私は、四月には、主人のところに来ていたので、その後のことはわからない。ただ、自分の答案がどの程度であるかだけは、わかるので、女性だから卒業出来たのかも知れないということ、を、当時は単に喜んでいました。だが、考えて見れば、それは女性蔑視であり、自らそれを肯定してたわけ、実に情けない。しかも、留年となった皆さんには、後ろめたい気持ちが残る、すつきりしいまま、今に至つて

二十代は、いつもこのままでいいの、もつと何かすべきことがあるのではと、自問自答をくり返して、三十代は、いつも何か大事なことを忘れていたような、物足りなさを感じ、四十代となつて、充実感はないが、教育費におつわると、とにかく働かなくつちやという毎日のくり返して、今後どうなるかわからないが、「後悔をしない人生」をモットーにしてはたはらずの私ではあるが、ロシーと恥とが積み重なつていくばかりだ。今、唯一の気分転換は、地歌三味線で、丸四年になります。いつか、お会い出来る日が来たとき、少しは胸を張つた私を、お見せ出来れば、うれしいのですが。皆様の多幸を、お祈り致します。



留守番電話を導入しています。不在の時でもメッセージをいれてください。

卒業生の皆さん各支部からの出欠ハガキ等は必ず返信して下さい。ちよつとした心掛けが同窓会を店構しているのです。

平成六年版 逢った友の顔 鵬友会総会フォトライブラリー



また、齢を重ねてみて、若年、年配、両方の気持ちに少しずつ分かる。それで、本当に心の底まで分かってある人を求めて生きたい、気持ちになった。この人生にそれを求めても、住居が変わる。住居が変われば、付き合える人も変わる。変化がすぐないのは何か。そのよすがとして、大学があると思つた。だから、支部の会合に

今、佐世保で唯一の四年生大学でもあり、私たちの母校でもありま

また、力強いことは県立大学の帰趨に大きな危機感を抱いたすべ

また、現実には私たちの主張を現

また、皆様の声をお聞かせくださ

長崎支部

支部連絡先
☎0958・42・3367
支部長：植木 博資
〒852長崎市三芳町6-23
三芳第二アパート201

緊急報告

長崎支部長 植木 博資

面をかりてあえてお願いしたい出欠の有無にかかわらず返信ハガキは投函して欲しい。それが卒業生の鵬友会への参画の第一歩であると思うのだが。

は、できるだけ出席しよう。人は、生まれた時点から、一生の終了点へ向かってスタートをきる。僅かの短い人生だ。

ひとつは「医療における看護学の発展、看護ニーズの多様化、高学歴化、若年人口減少にかんがみ、四年生の看護大学を長崎県において速やかに設置すべきである」という動きともうひとつは長崎市の県立女子短期大学の四年生昇格の動きです。

「議員連盟」が結成されたこと、佐世保選出県議員との共同行動が確認されたこと。さらに市民全体への呼びかけが確認され、佐世保市だけでなく、県北住民にとっても重要なこととして共同歩調を呼びかけていくことも確認されました。これだけの世論形成ができるなら、これだけの世論知事としてもこれを無視して県南への看護大学設置という強引な決定はできないでしょう。さいわい今の時点では表向きであつても「場所は未定」ということになつて

私たちの主張を表現させていくうえで避けてとれない課題であることを確認すべきです。

何年たっても仲間は仲間！ 支部に気軽に電話して、状況を伝えよう。



関西支部

支部連絡先
☎0798・65・6321
支部長：小原 純博
〒663西宮市北口町29-26

シニメーター・カー・レピー第九星の木星衝突のニュースをなにげなく思い出し、仕事の帰りに疲れた体を引掛りながら夜空を見上げて星を探した時、ふと、正岡子規の「真砂なす数なき星、その中に

最後に、関西支部の発展のため、長年にわたり多大な労苦をおかけしている代表幹事の梁順興氏に、紙面をかりて御礼申しあげますと共に、「われに向ひて光る星」と出合う確率が大きくなるよう微力ながらお手伝いさせていただければと思います。

去る6月11日に佐世保で開催された同窓会総会に出席した。今回は同窓会の進行も前回と比べて一趣違いの感じがあつた。総会に於いては各支部代表より活動報告や建設的な意見が飛びかき、懇親会に於いてのイベントはマジックショーありゲームあり年代・世代を越えての同窓生と先生方の交流があり、回をおうごとに充実した運営が行われ大変喜ばしく思う。

7月22日平和楼に於いて役員総会および福岡支部懇親会と名をうって開催したのが出席者は来賓の先生方を含めて20数名だった。会を催すにあつて50名弱の支部会員に案内状を出してみたが返信ハガキが返送されたのは2割弱と言ふ数字におつた。この紙

関東支部

支部連絡先
☎0429・72・7631
支部長：小室 宏
〒357埼玉県飯能市美杉台1-20-15

関東支部の近況を報告します。関東支部は年に一度、支部総会の他にレクリエーション活動をして、親睦を図っています。

経済現象で、ある物事が起こつたすぐ後のことについてはある程度の予測が可能なのに、時間がたつにつれ、当初予測してない別の現象が現れて「カオス」の状態になつてしまふ。しかしそこには、後で考えれば平均的な一定の傾向が見えてきます。つまり、人生とつねに表裏をなすようなふし

同窓会とは、ともすれば青春のノスタルジアに浸る場と考えられがちですが、理屈ぬきで、県立大学の同窓という直接はたつきかけてくる感情を大事にし、それこそ、おのおの花が集い語りあえる場であればなすべしらしいと思ひます。またその時、有限の時間も永遠の時間であるかのように感じられる方が一人でも多くいたら

福岡支部

支部連絡先
☎092・812・0357
支部長：濱辺千昭
〒814-021福岡県早良区西園田園地コープ7-3

平成六年版 逢った友の顔 鵬友会総会フォトライブラリー



東支部の礎を守り、更なる発展のため、一生懸命がんばります。どの支部でもそうですが、会員の方々の所在の確認に苦慮しています。関東支部では、支部総会・レクリエーションの案内などの往復ハガキの返信部分に本部登録のデータを印字するなど、工夫をこらしていますので、出欠にかかわらず、ポストに投函するようお願い致します。

われに向かひて光る星あり」の句を思い出しました。子規のように自分だけに語りかけてくるたつたひとつの星に出会うことが出来たらと思うと、急に勇気が湧いてきて家路を急ぎました。もちろん、皆様には、恋人・妻・あるいはと両手にこぼれるほどいらつしやると思ひます。また、日々をかけたがえなれないことと存じます。それゆえに、くりかえしのきかない一度きりの人生の中で、人の出合いがたいへん美しく感じられる瞬間が多々あつたことと存じます。

大きな感覚になるのです。予測できないので予測できない一度きりの現実の中だからこそ永遠の時間が凝縮されているかのように美しい瞬間があるのでしょうか。「草いろいろのおの花の手柄かな」と、芭蕉が詠んだことなのかも知れません。